



ちょっとお出かけ い〜な旅 2017/06/9 (金)

平成 29 年度 第 2 回

信濃の国の3名山 そろい踏み

♪御嶽・乗鞍・駒ヶ岳♪

い〜なガイドの会
プロジェクトメンバー
奥村 憲

伊那の人々が「西駒」と呼んで親しんでいる中央アルプス駒ヶ岳の向こう側にある木曾駒高原を訪ねるツアーは6月9日、朝から絶好の青空に恵まれ、心も軽く市役所を出発した。

伊那側から権兵衛トンネルを抜けて木曾谷に入ると景色は一変し、緑色の里山が道の両側にせまる。ベンガラ赤色のトタン屋根、ニセアカシアの白い花が見える国道361号を走り、開田高原「木曾馬の里」に向かった。開田高原の「そば道楽体験道場」の駐車場に入ると、目の前に日本百名山の霊峰御嶽山が雄大な姿を現した。残雪が多く、青空に噴煙を上げる雄大な御嶽

山に感嘆し、参加者は盛んにシャッターを切っていた。

車窓からのんびりと草をはむ木曾馬を眺めた後は、国道19号に戻り木曾駒高原に向かった。伊那から眺める山並みとは全く異なる残雪の駒ヶ岳を眺め、新緑の林の道を登り、標高1000メートルの木曾駒高原ホテルに着いた。レストランで昼食を食べながら、すそ野が緩やかに伸びた御嶽山とゴルフ場の美しい芝の緑を眺めた。

午後は県歌「信濃の国」を歌いながら旧中山道宮ノ越宿に向かい、再建された本陣を地元ボランティアの説明で見学。展示されていた学生の現

代絵画も鑑賞して、義仲館を訪れた。館では、資料や武者絵の説明を聞き、平安時代に木曾から京都で活躍した朝日将軍木曾義仲や巴御前に思いをはせた。その後奈良井宿に向かい、保存された旧街道を散策し、木曾漆器などの買い物を楽しんだ。

帰りは奈良井ダム経由で権兵衛トンネルを通り、広々とした伊那盆地と南アルプスの遠望を眺めた。快晴の山また山の木曾谷の初夏と山岳眺望のツアーは地域の自然と景観の違いを改めて認識する旅となった。トンネル活用で木曾と伊那の交流が一層盛んになればと思った。